

日時: 5月28日(木曜日) 15:45~16:35(予定)

会場: 7F 合併教室

対象: 2年理数科生徒

参加者: 米田(カテゴリーA:②), 深川(数学:②), 理科多数(理科:②), 福野(S探係:①, ③, 進行)

流れ:

- ① 大まかな日程やテーマ決定の流れの確認(15分)
- ② 各教科・科目より説明(5分~6分/科目×5科目)
- ③ まとめ

時間割:

時間(予定)	内容	担当者
15:50	大まかな日程やテーマ決定の流れの確認	福野
16:05	各科目よりの説明 カテゴリーA	米田
16:11	数学	深川
16:17	物理	文田
16:24	化学	福野
16:30	生物	野口
16:36	まとめ	福野

「各科目よりの説明」の要点

カテゴリーA

- ・ 希望調査票に書いてもらいたいこと(研究テーマについては書くことがない)
- ・ どのような人に来てもらいたいか

数学・理科

- ・ カテゴリーCを考える上での留意事項(禁止事項など)
- ・ カテゴリーBについては読めばわかることは省く(書き忘れていたようなことは5月25日までなら訂正可能)
- ・ その他, どのような人に来てもらいたいか

本日の流れ(予定では1時間弱かかります)

- ・ サイエンス探究の大まかな内容の流れの確認(①, ②)
- ・ テーマ決定までの日程と作業内容の確認(③)
- ・ 各科目より

### ① サイエンス探究の学習到達目標(シラバスより)

2年後期から3年前期の1年間をかけて各自の設定したテーマ・課題に基づいて研究を行う。SSH事業の中では、これまでに得た知識・技能を十二分に生かし、発表のための総まとめという位置づけになっている。研究を通して、研究能力、論理的思考力、科学的判断力、特に、論理的解決能力の育成に重点を置いて、科学的考え・手法・説明力をしっかりと理解し、実行できる研究能力の養成を中心におく。一年間の受講を通して、自主性および独創性を、「科学するところ」を持ちあわせた人材となることを目標とする。

### ② サイエンス探究の流れ

		サイエンス探究の行事	大まかな内容
2009年	5月	28日 サイエンス探究説明会(本日)	研究計画の作成
	6月	10日 テーマ決定予備調査締め切り	
		17日 予備調査返却	
		24日 テーマ決定本調査締め切り	
	末	テーマ決定	事前学習
	7月	(サマースクールに向けた準備)	
	8月		事前学習
	9月		
	10月	中旬 後期授業開始	
	2010年	11月	
12月			
1月			
2月		下旬 後期授業終了	
3月		25日 国際会議	国際会議に向けての準備
4月		月上旬 前期開始	最終報告書を作成
5月			
6月			
7月	未定 最終報告会(校内・6月の可能性もあり)		
8月	月上旬 SSH全国大会(数グループのみ)		

### ③ テーマ決定まで

[日程の確認]

5月28日(木) 説明会

皆さんがどのテーマの実験をしたいかをまとめます。参考資料として地学教室で全国のSSH指定校の報告書を閲覧することができます(地学教室の開放時間は毎週月・水・金の放課後を予定)

6月10日(水) 予備調査締め切り

教員が担当教科の調査票をすべて読み、修正すべき調査票については修正案を作成します。

6月17日(水) 予備調査修正案の返却

皆さんが修正案を元に、文献等調査したり、各教員とディスカッションしたりして、本調査票を作成します。

6月24日(水) 本調査票提出

[予備調査提出まで]

内容によって大きく三つのカテゴリーに分かれています。カテゴリーによって申し込み方法が異なりますので、注意してください。希望調査提出の段階で研究計画をしっかり立て、その研究計画が実行可能かどうかを探りながらテーマ決定に至ります。従って、「**明日にでも研究を開始できる水準**」で希望調査票を書いてください。

○ カテゴリーA : 海外(中国, 韓国など)のグループとともに共同研究を行います。

《内容》 英語で電子メールを書いたり、設備が整えばWebカメラを利用してリアルタイムにディスカッションするかもしれません。実際の研究内容はまだ未定ですが、おそらく環境に関する調査、比較になると思います。

《申込方法》 希望調査票①で申し込んでください。

個々に申し込んでもかまいませんが、最終的には一グループで研究します。

○ カテゴリーB : 予め用意されたテーマ【別紙参照】の中から選択して、研究計画を立て、研究を進めます。

《内容》 テーマは予め用意されていますが実際の研究手法までは与えられません。具体的に何を、どう次の展開に発展させるのかは自分で考える必要があります。なお、数学はこのカテゴリーでの募集は行いません。

《申込方法》 希望調査票①で申し込んでください。

個々に申し込んでもかまいませんが、最終的に一テーマにつき一グループで研究します。

人数調整などが必要になる場合があります。

○ カテゴリーC : テーマ設定から各自(各グループ)で行い、研究計画を立て、研究を進めます。

《内容》 興味のある内容について、仮説の設定から行います。具体的に何を、どう次の展開に発展させるのかも自分で考える必要があります。

《申込方法》 希望調査票②で申し込んでください。

個々に申し込んでも、グループで申し込んでも構いません。

[予備調査提出後、本調査提出まで]

予備調査から本調査提出までの間は希望調査票の修正のための時間と位置づけています。それは可能な限り、皆さんの希望に沿ってテーマを決定していくという方針に基づいています。

極力皆さんの希望に沿うといっても、まったく制限が無いわけではありません。器具・設備上の問題、安全面での問題、人数の問題などで予備調査の希望テーマでは決定できない場合が生じます。この場合、いきなり不採用とせず、担当教科の教員と協議して研究内容の修正を行うことがあります。また、研究可能な状況であっても中途半端な希望調査票を書いた場合は修正が求められます。

最終的に「修正などを通して、そのテーマを研究することが可能と**担当教員が認めた場合**」に本調査を提出し、その研究を行うことができます。